

26日 月曜

テサロニケ I



5:12 兄弟たち、あなたがたにお願いします。あなたがたの間で労苦し、主にあってあなたがたを指導し、訓戒している人たちを重んじ、

5:13 その働きのゆえに、愛をもって、この上ない尊敬を払いなさい。また、お互いに平和を保ちなさい。

5:14 兄弟たち、あなたがたに勧めます。怠惰な者を諭し、小心な者を励まし、弱い者の世話をし、すべての人に対して寛容でありなさい。

5:15 だれも、悪に対して悪を返さないように気をつけ、互いの間で、またすべての人に対して、いつも善を行うように努めなさい。

5:16 いつも喜んでいなさい。

5:17 絶えず祈りなさい。

5:18 すべてのことにおいて感謝しなさい。これが、キリスト・イエスにあって神があなたがたに望んでおられることです。

5:19 御霊を消してはいけません。

5:20 預言を軽んじてはいけません。

5:21 ただし、すべてを吟味し、良いものはしっかり保ちなさい。

5:22 あらゆる形の悪から離れなさい。

主の日すなわち主イエスにお会いすることを思うなら、クリスチャンはいよいよ地上の生き方が善きものになってゆきます。パウロも終末の話をした後に、地上での今のあり方を具体的に勧めています。

指導者を認めて尊敬すべきこと。気ままな者や小心な者や弱い者への態度、また悪い人にも悪で報いないで善を行うべきことなど。

また「絶えず祈りなさい。すべての事について、感謝しなさい。」というのは、クリスチャンの基本姿勢です。

そして御霊はクリスチャンにとってなくてはなら

ないお方です。ただし「消してはなりません。」とあるように、私たちが心からお迎えしなければなりません。預言とは神のことばですから聖書と言ってよいでしょう。御霊と聖書、これはクリスチャンの生命線です。両者に触れていなくて、クリスチャンの主張も計画も見通しも意見もありません。

良いものは何でしょうか。また悪は何でしょうか。両者を取捨選択するのは、御霊と聖書による決心が必要です。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

